

## 魚津ロータリークラブ会報誌

2015-2016年度 R I 会長 K.R. ラビンドラン

2015-2016年度 魚津RC会長 羽田 陸朗



第3024回 例会 (サンルート・ホテル)

2016年 6月 17日

### 1、点鐘・握手

### 2、ロータリーソング 「我等の生業」

### 3、ゲスト・ビジターの紹介

### 4、誕生祝 6月14日 中尾 登志男 さん



- 皆さん、こんにちは～。  
誕生日を祝って頂き、ありがとうございます。63歳になります。  
ルーテイン(日課という意味)として、毎朝、ストレッチ 30分。  
そして親の写真に向かって挨拶します。  
「自分を生んでくれて ありがとう」。  
会社でみんなに「ありがとう」と感謝の意を表します。

- 誕生日は親に向かって、まわりに向かって感謝する日かな～とっております。  
振り返ると丁度一年前、かつての戦国時代、江戸、明治時代の写真では、しっかりした顔付の人は 20代、30代です。顔付が人を表しています。  
「変わらない」のがテーマなのでしょうか？  
体も、心も出来るだけ変わらないように、を目指して、ストレッチを含め、心がけをしてやっけて生きたいのが抱負です。
- 皆様方と変わらず、お付き合いの程、お願い致します。

### 5、会長挨拶 (羽田会長)

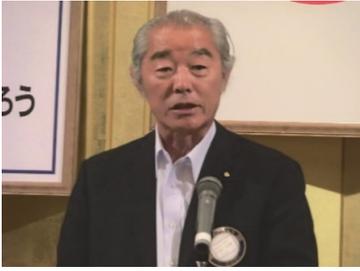


- 素敵な誕生日挨拶、ありがとうございました。  
六月に入ると「梅雨」に入ります。旧暦では「水無月」です。  
雨が、雪が少なかったのでしょうか。都会では”水を大切に”  
と言われていますが、魚津では水がいっぱいあるから、十分  
使ってください。収入になりますからです。
- 体調くずしやすい季節です。体調管理をしっかりと、夏を

乗り切ってください。

- 先週の野外奉仕例会は「さつき園の管理」でした。たくさん出席して頂き誠にありがとうございました。
- 今年の魚津ロータリークラブの事業の中で、特に志賀原発の見学が印象に残っています。  
坪野さん(北陸電力新川支社長)、ありがとうございました。  
坪野さんは今月一杯で本社へご榮転されると聞いております。益々お元氣でご活躍されることをご祈念申し上げます。  
また、新しい支社長さんは7月1日より正式に入会となります。皆さんと共に、ご歓迎致したいと思っております。
- また、桃山運動公園、総合公園などの野外奉仕活動が、特に印象に残っています。  
ありがとうございました。

### 6、幹事報告 (川岸幹事)



- 今日は、最後の幹事報告です。
- 6月11日午前8時30分より富山労災病院の清掃奉仕活動が行われました。魚津ロータリークラブより佐藤さん、仙丸さん、坪野さん、寺田さん、中田さん、川岸の6名が参加しました。
- 6月の例会案内

6月24日(金)午後6時30分よりグランミラージュホテルにおいて、納会夜間例会です。

7月1日、会長・常任委員長の年度活動方針説明。

7月8日、各委員長活動方針説明。

7月15日、ガバナー補佐、訪問。

7月22日午後6時30分、夜間例会。新年度決起大会。(サンルートホテル)

7月29日、ガバナー公式訪問。

•6月SAA補助 野沢さん、大城さんです。

#### 7、出席報告（仙丸委員長）



- 3023回例会 出席21名、欠席11名、出席率 67.8%。  
3021回例会修正出席率 清水、中田さんがメイクアップし、71.43%から78.57%になりました。

#### 8、ニコボックス報告（坪野委員長）



- 若井さんより、一年間ご無沙汰致しました。  
今後共、よろしくお願ひ致します。

#### 9、クラブ協議会常任委員長年間活動報告

##### (1)クラブ奉仕委員会(代理 坪野ニコボックス委員長)

委員長より報告書を預かっていますので報告します。

- 当初4つの具体的方針を明示していました。その中で(4)会員増強については、うまくいきませんでした。新年度に引き続き頑張りたいと思います。皆様のご協力をお願い致します。(3)地区大会、協議会参加については、人数も小人数に留まりました。新年度は、楽しく参加できるように努力いたします。
- 会員委員会、増強0でした。次期は会長として、2~3人の増強をしたいと思っています。
- 出席委員会、年間出席率は80.27%でした。次年度は100%に向けた委員会活動にしたいと思っています。
- 広報委員会、内容の充実した会報を毎週発行して頂き、会員一同読むのが楽しみな内容でまとめて頂きました。ありがとうございました。  
「ロータリーの友」の紹介もきめ細やかに報告して頂き、本を読む習慣が強化されました。
- 親睦委員会、誕生日のプレゼントは楽しいひと時で、和やかな雰囲気の中、例会が行われました。旬の会では、おいしい食事の会ができました。ご夫人の参加がもっとあれば、より盛り上がったのではと考えています。年忘れ例会も盛大に出来ました。次年度も更な

る参加を目指していきたいと思えます。

- 情報委員会、月初めに発刊される「ロータリーの友」を毎月紹介して頂きまして、他のロータリーの活動等も紹介して頂きました。次年度は魚津ロータリークラブの記事が載せられるようにやっていきたい。
- ニコボックス委員会、年間総額は58万円でした。暖かいご支援を頂きまして、ありがとうございました。嬉しいことがありましたら、是非ご協力の程お願い致します。
- \*皆様のご協力で大役を終えることができ、誠にありがとうございました。次年度は会長として魚津ロータリークラブの発展の為頑張りますので、ご協力の程お願い申し上げます。

#### (2)職業奉仕委員会(辻 委員長)



- 優良従業員については、今回1人の表彰をしました。先輩からは「職業奉仕とは自分の職業を一生懸命することが奉仕ですよ」と聞いて来ました。皆様のために奉仕することが職業奉仕の真髄です。来年度の委員長さんには、もっとたくさんの方が表彰出来ればと思っています。

#### (3)社会奉仕委員会(中島久義委員長)



- 夜の社会奉仕をして、昼の社会奉仕をしていなかったのので、中尾地域環境委員長に世話をかけていましたので、中尾さん説明をお願いします。

- 今年度地域環境委員会が計画していました事業について、記念碑・植樹された花木などの手入れや労災病院の清掃奉仕活動への参加など、地域に具体的に目に見えることをかたちでやる活動をしてきました。

また、つくし学園をクリスマス会を機会に訪問し、大変喜んで頂きました。

今年は、ロータリークラブが地域に具体的に貢献できたかな～と思っています。

- インターアクト委員会:(例会欠席のため会報上で報告です)

募金活動の際の幟旗を作り卓話の時に手渡しました。今年の歳末助け合い募金から使用します。インターアクターの卓話は大人顔負けの素晴らしい内容でした。彼らの将来が楽しみです。卒業式に祝電をおくりました。吹奏楽部の定期演奏会などにも祝電か花束を贈ったらいいかと思えます。H30は、魚津RCがインターアクト地区大会のホストになります。

#### (4)国際奉仕委員会(野沢委員長)



- 世界社会奉仕ではRIの国際青少年プログラムがありますが、”国境を越えて奉仕をしよう”ということです。

本来なら日本人達と外国の人達との交流したらと思ったが難しかった。

- 国際青少年交換については、10数年、派遣も受け入れも無しです。会員の子供、孫の派遣も12~13年無です。

- ロータリー友情交換については、5月28、29、30日、ソウルにてRI 国際大会に逢うことになっていました。時間が短くて話が出来ませんでした。

今後は事務局同士で連絡が取れる形になればと思えました。

- ・6月5日、金沢で第五回日台親善会議がありました。台湾から多くの同士が、そして全国からも沢山ロータリー会員が参加していました。魚津からも会長・幹事が出席して欲しかった。
- ・ロータリー活動については、例会だけではなく、それ以外の活動があった方がよい。

(5)財団委員会(平崎委員長)



- ・米山奨学事業の寄付については、8年間一切なかった。この事業は、日本人が受けることが出来ません。外国人が対象です。
- ・ロータリー財団の寄付は、今年度 139,000円でした。昨年は、60周年記念事業として利用しました。この財団は、年間の寄付金の半額相当が活動資金に充当

出来るということになりました。よって今年の約 70,000円が2年後クラブの事業資金になります。

- ・ポール・ハリス・フェローは、年間トータル 1名プラスで 21名となりました。次年度も皆さんと一緒に努力したい。
  - \* 委員会を開かずに結果だけを報告しました。
- 終わり。

[ あとがき ]

- ・今日の会長挨拶に「みなずき」についての所見がありましたので、少し調べました。辞書によると「みなづき」(水無月・六月)は、「みなつき」ともいう。「な」は「ない」の意に意識されて「無」の字があてられるが、本来は、「の」の意で、「水の月」「田に水を引く必要のある月」の意であろう。と書いてありました。実際、六月はご承知の通り、「田植え」が終わり「稲」の生育のための「活着」や「分けつ」が行われ、そのために「水」が必要不可欠です。そのため、片貝川上流には分水装置が設置されています。それは公平に魚津市内の水田に水が回るように考えて作られています。しかし上流では比較的自由に水田に水を当てる事が出来ますが、下流ではなかなか自分の好きなようにはいきません。ですから、昔から水当て番を作り、夜中ずーと水の番をして、当てていました。近年は、土地開発や果樹栽培などで「水」の必要量が減少したので、昔のようなことはありませんが、稲が水を必要としていることには変わりはありません。その為、片貝川などの本流は「水」が枯れている状態ですので、文字を書いた「貴族」はどのように感じたのでしょうか。
- ・最近の稲作は採算が合わないので敬遠がちです。どうなるのでしょうか？

・ポール・ハリス語録一その27 (2012年9月24日 配信)

「ロータリアンは言葉より行動に心ひかれます」  
(ナショナル・ロータリアン、1911年11号)

- ・羽田年度の活動行事は、あと「納会」だけとなりました。皆さんご苦労さまでした。広報委員会も次年度の皆さんにバトンタッチ致します。